No. 182

長文読解 ULTIMATE CHEAT SHEET

評論文の論理展開パターン10（対比・因果・譲歩→主張）

評論文の展開には型がある。10のパターンとサイン語を知れば、冒頭の数文で「主張がどこに来るか」を予測できる。

Web版はこちら

ここだけ3行

1 冒頭の数文で型を見抜き、主張の位置を予測する

2 一般論→反論・譲歩→主張は、逆接の後が主張

3 問題→解決は解決策、因果は矢印の向きが設問になる

◆ 主な展開パターンを記号で

① 一般論→反論

多くの人は～ ✕ → However → ★筆者の主張

逆接の後が主張。前半の一般論は否定される

② 問題→解決

問題（＋原因） → ★解決策

problem → should / one solution is

③ 対比

A ⟷ B

同じ物差し（軸）で比べる

whereas / in contrast / on the other hand

④ 因果

原因 → 結果 → 次の結果

because / lead to / as a result

矢印の向き（どちらが原因か）が設問になる

★の位置に筆者の主張が来る。型が見えれば主張の場所を予測できる

◆ 10の展開パターン 10

各パターンの骨組み（英語のミニ例）と、主張の位置・狙われる設問をセットで。

☐ 1 一般論→反論

「多くの人は～と考える」を否定して筆者の考えを出す。主張はHowever の後が多い（※一般論を部分的に修正するだけのこともある）。一般論の内容を筆者の意見とするダミーが定番。

> Many people think video games are a waste of time. However, some games can improve problem-solving skills.
> 多くの人はゲームを時間のむだだと思っている。しかし問題解決力を高めるゲームもある。

☐ 2 譲歩→主張

反対意見を一度認めてから本音を言う。It is true that / Of course / Admittedly ～, but…。主張は but の後。

> It is true that online shopping is convenient. But it is hurting small local stores.
> 確かにネット通販は便利だ。しかし地元の小さな店を苦しめている。

☐ 3 問題→解決

問題（problem / challenge）と、多くはその原因を示し、解決策を提案する。主張は解決策（should / need to / one solution is）。

> Plastic waste is polluting the oceans. One solution is to charge for plastic bags.
> プラごみが海を汚している。解決策の1つはレジ袋を有料にすることだ。

☐ 4 対比

2つのもの（A と B）を同じ軸で比べる。in contrast / whereas / on the other hand。比較の軸と、筆者がどちらを評価しているかを押さえる。

> Printed books are easy on the eyes, whereas e-books are easy to carry.
> 紙の本は目に優しいが、電子書籍は持ち運びやすい。

☐ 5 因果

原因→結果、または結果→原因の連鎖。because / lead to / result from / as a result。矢印の向きと、原因が1つか複数かが設問になる。

> Rising temperatures melt the ice, which in turn raises sea levels.
> 気温の上昇が氷をとかし、それがさらに海面を上昇させる。

☐ 6 時代の比較（昔→今）

昔の状況と今の状況を比べ、変化とその理由・影響を述べる。In the past / used to ↔ Today / Now。変わった点が主張の核。

> People used to rely on maps. Today, most of us depend on GPS, and we may be losing our sense of direction.
> かつて人は地図に頼っていた。今は多くがGPS頼みで、方向感覚を失いつつあるのかもしれない。

☐ 7 定義

重要な概念の意味を定義し、それを軸に論を進める。is defined as / refers to / By X, I mean。定義の文は下線部・言い換え問題の手がかりになりやすい。

> By resilience, we mean the ability to recover from difficulties.
> レジリエンスとは、困難から立ち直る力のことだ。

☐ 8 分類・列挙

テーマをいくつかの種類・理由に分けて順に述べる。There are three types / First, Second, Finally。数と順番、どの説明がどの種類かが設問になる。

> There are two main reasons for this. First, ... Second, ...
> これには主に2つの理由がある。第一に…第二に…

☐ 9 具体→抽象

エピソードや例を先に出し、最後に一般的な結論を引き出す。主張は後半（Thus / This shows that）。前半の例に引きずられない。

> When I lived abroad, a stranger helped me find my way. This shows that kindness needs no common language.
> 海外で暮らしていたとき、見知らぬ人が道を教えてくれた。親切に共通の言語はいらないのだ。

☐ 10 仮説→検証

研究の問い・仮説→方法→結果→結論の順。科学の説明文に多い。found / suggest / indicate の後の結果と、その解釈の強さ（may / suggest）が設問になる。

> Researchers wanted to know whether music helps plants grow. They found no clear effect.
> 研究者たちは音楽が植物の成長を助けるかを知りたかった。はっきりした効果は見つからなかった。

◆ 一目でわかる早見表

パターン	サイン語	主張の位置
一般論→反論	Many people think / However	However の後
譲歩→主張	It is true that / Of course ～, but	but の後
問題→解決	problem / challenge / should / solution	解決策
対比	in contrast / whereas / unlike	比べる軸と、筆者が評価する側(あれば)
因果	because / lead to / as a result	筆者が説明・強調する側(原因か結果か)
時代の比較	used to / In the past / Today	今の変化とその意味
定義	is defined as / refers to / mean	定義した概念を使った結論
分類・列挙	There are ～ types / First, Second	分類の基準を示す文・最後のまとめ
具体→抽象	When I ～ / This shows that	最後の一般化
仮説→検証	wanted to know / found / suggest	結果の解釈

なぜ効く？

なぜ型を知ると読める？ 説明文の全体構造(問題→解決、比較、因果など)をとらえて読む読み手ほど、内容をよく思い出せることが示されている(Meyer, Brandt & Bluth 1980 など、Meyer の「トップレベル構造」の研究)。型は情報を入れる棚のようなもの。**棚が先にあれば、細部は迷わず正しい場所に収まる**。

◆ パターンは組み合わさる 3

☐ **1 一般論→反論＋因果**

「～と思われているが、実は原因は別にある」。最もよく見る組み合わせ。逆接の後の「本当の原因」が主張。

☐ **2 問題→原因→解決**

問題を示し、因果で原因を分析し、解決策を出す。原因と解決策の対応(どの原因にどの解決か)が設問になる。

☐ **3 時代の比較＋対比**

昔の A と今の B を比べ、どちらにも利点・欠点があると整理する。筆者がどちらに傾いているかを最終段落で確かめる。

◆ 型の読み違い 3

☐ ✕ ~~冒頭の一般論を筆者の主張と読む~~
○ **後に However が来るか待つ**
一般論→反論の型では一般論は否定される

☐ ✕ ~~問題提起の段落を主旨として選ぶ~~
○ **後半の解決策を主旨とする**
問題→解決の型の主張は解決策

☐ ✕ ~~研究結果 may help を「助ける」と断定~~
○ **「助けるかもしれない」と程度を保つ**
仮説→検証の型では結論の強さが狙われる

◆ 確認テスト

1 冒頭が Traffic jams are a serious problem in big cities. のとき、最も可能性が高い型は？
a 定義　b 仮説→検証　c 具体→抽象　d 問題→解決

2 It is often said that ～. However, ～. の型で主張はどこ？
a However の後　b It is often said の後　c 両方　d 段落の外

3 In the past, people wrote letters. Today, ～. の型は？
a 譲歩→主張　b 定義　c 時代の比較　d 分類・列挙

4 Researchers found that ～ may reduce stress. の may が示すのは？
a 結論の強さ(可能性)　b 命令　c 許可　d 過去

◆ 解答

1 問題→解決 problem が型のサイン
2 However の後 一般論→反論
3 時代の比較 In the past ↔ Today
4 結論の強さ(可能性) 断定の選択肢は言い過ぎ

参考資料 Meyer, B. J. F., Brandt, D. M. & Bluth, G. J. (1980). Use of top-level structure in text: Key for reading comprehension of ninth-grade students. Reading Research Quarterly, 16(1)

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳(PDF印刷)・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート
(全439本・無料)